

令和6年度 シラバス 【書道Ⅱ】

11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択必修	2	6	8	0
教科書			学習書・その他教材	
書道Ⅱ（東京書籍）			学習書：書道Ⅰ（NHK 出版）	

グラデュエーショ ン・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

- 書道を通して、生涯にわたり書を楽しむ心情を育てる。
- 表現と鑑賞の基礎能力を伸ばし、感性を高めるとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習内容

- （1）篆書の古典『石鼓文』の臨書と篆刻・・・（第1回レポート）
- （2）隷書の古典『礼器碑』の臨書・・・（第2回レポート）
- （3）草書の古典『書譜』の臨書・・・（第3回レポート）
- （4）仮名の単体・・・（第4回レポート）
- （5）仮名の連綿・・・（第5回レポート）
- （6）仮名古筆の臨書と創作・・・（第6回レポート）

学習方法

【スクーリング】

かならずレポート・教科書・学習書を持参してください。

課題の確認・解説・指導を行います。各レポート締切日の前に2回のスクーリングがあります。

1回目は解説に重点を置き、その後、実技指導をします。

2回目はおさらい後、実技指導を重点的にを行います。

スクーリングに毎回出席することで、レポート課題がおおむね完成するようになっています。

【レポート作成】

- ①筆記課題…問題文をよく読み空欄が無いようにすべてに解答・記入してください。
- ②実技課題…課題ごとに異なる表現技法を理解し、出来るようになるまで繰り返し練習しましょう。

評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言

書道Ⅱは書道Ⅰの学習をふまえ、より豊かな表現をするための学習をしていきます。積極的にスクーリングに出席して、レポートを順番に学習していくことでスムーズに学習することができます。現存している最古の漢字書体である篆書や、波磔の美しい隸書などの書体にも新たに触れてみましょう。後期は、仮名の書に取り組めます。仮名用の小筆と半紙が必要になるので、早めに用意しましょう。